

信州大学医学部附属病院形成外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年7月11日

「脈管奇形を有する日本人患者に由来する病変組織における変異遺伝子の同定」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部遺伝子解析倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	646(遺伝子)
研究課題名	脈管奇形を有する日本人患者に由来する病変組織における変異遺伝子の同定
所属(診療科等)	形成外科
研究責任者(職名)	杠 俊介(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年1月31日
研究の意義、目的	日本人の脈管奇形患者さんおよび PROS(PIK3CA-related Overgrowth Spectrum)疑いのある疾患を有する患者さんの病変組織における体細胞性遺伝子変異を明らかにすることを目的とした研究で、今後の医薬品開発の開発方針や臨床試験計画に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2008年1月1日から2024年1月31日の期間に当院で脈管奇形について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、身体所見、検査結果など／病変組織
他機関への試料・情報の提供方法	郵送、電子的配信等により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集するとともに、検体を用いて体細胞性遺伝子変異の同定を行い、診断名と変異の関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	岐阜大学(責任者:小関 道夫)、国家公務員共済組合連合会斗南病院(責任者:佐々木 了)、国立成育医療研究センター(責任者:藤野明浩)、大阪大学(責任者:大須賀慶悟)、和歌山県立医科大学(責任者:神人正寿)、福岡大学(責任者:秋田定伯)、大分大学(責任者:末延聡一)
研究代表者	主任施設の名称:岐阜大学 研究責任者:小関 道夫

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 杠 俊介(形成外科・教授) 電話: 0263-37-2833
--------	--

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する検体や情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、情報は研究事務局である ARTham Therapeutics 株式会社、検体は遺伝子解析委託先である Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分やご家族の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。